

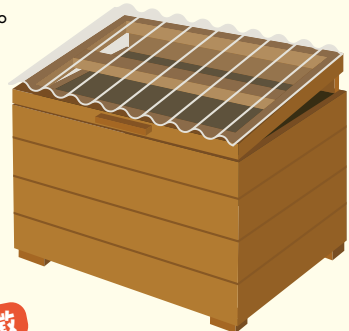


おきて 掟4 自分に合った生ごみ減量方法を探すべし

生ごみ処理容器

● キーロ

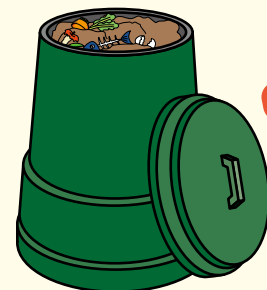
土に穴を掘って生ごみを入れて土と混ぜることで、微生物が生ごみを分解する仕組み。庭や畑だけでなく、ベランダや軒下でも使える。



特徴

- ・臭いや虫が発生しにくい
- ・夏は5日間程度で分解できる
- ・自作できる
- ・土が増えない(堆肥としても利用可)
- ・ランニングコストがゼロ
- ・気温が低いと分解が遅くなる
- ・販売品が少ない

● コンポスト



庭や畑に置き、生ごみを入れて堆肥化する容器。

特徴

- ・安価で手軽
- ・堆肥化して野菜や植物の栽培に役立つ
- ・臭いや虫が発生することがある
- ・分解に時間がかかる

● バッグ型コンポスト



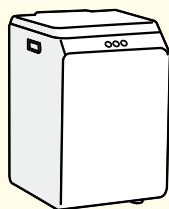
ベランダや屋内などに置き、生ごみを入れて堆肥化するバッグ。

特徴

- ・専用バッグと基材が必要
- ・基材(中身)を定期的に購入して、入れ替える必要がある
- ・堆肥になったら、土を入れて野菜を育てられる
- ・臭いや虫が発生することがある

生ごみ処理機

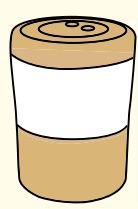
● 電動生ごみ処理機 (ハイブリッド型)



特徴

- ・入れるだけで作業が楽
- ・臭いや虫が発生しにくい
- ・購入費が高額
- ・電気代がかかる

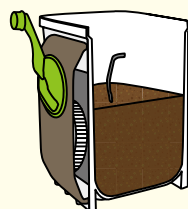
● 電動生ごみ処理機 (乾燥式)



特徴

- ・処理が速い
- ・購入費が高額
- ・電気代がかかる

● 手動式生ごみ処理機



特徴

- ・電気代がかからない
- ・購入費が高額
- ・電動に比べ日々の手間がかかる

市の補助金が活用できます

購入前の申請・交付決定など補助を受けるには要件があります。詳しくは廃棄物対策課まで。

- ①家庭用生ごみ処理容器・・・(子育て世帯枠) 補助率2/3・上限4千円
- ② // (一般枠) 補助率1/2・上限3千円
- ③家庭用生ごみ処理機・・・補助率1/4・上限1万円

※令和6年4月1日現在



お得ですな!



おきて 掟5 刈草・雑草は天日で乾燥させるべし

刈草・雑草は2日間、天日で乾かしてから出してください

刈った・むした草は、乾燥後、土や砂を払ってから出してください。



乾燥するだけで税金の節約に!

乾燥前



乾燥後(2日間)



実験

- ①晴れた日に刈った草の重量
5キログラム
- ②乾燥1日後の草の重量
2.75キログラム(45%減少)
- ③乾燥2日後の草の重量
2キログラム(60%減少)

雨や水滴がついていると、重量が大きくなります

雨や水滴で草が濡れていると、その分もごみの量として計量されてしまいます。同じ体積でも重さは約1.5倍になります。

ごみ処理経費は、ごみの重さで按分しているため、税金の無駄になります。

実験

- ①晴れた日に刈った草の重量
5キログラム
- ②①を水に浸してから水切りした草の重量
7.4キログラム(48%増加)



天気の良い日に作業するのが最高だなっ!

できるだけ、堆肥化するなどして、ごみに出さないでください

刈草・雑草は、堆肥枠などを使って堆肥にすることもできます。野菜や花を栽培している方、広い庭や畑がある方は、ごみに出さず堆肥化することで、自然に還してください。



堆肥を作って有効活用!

市の補助金が活用できます

購入前の申請・交付決定など補助を受けるには要件があります。詳しくは廃棄物対策課まで。

- ①家庭用堆肥枠・・・(子育て世帯枠) 補助率2/3・上限4千円
- ② // (一般枠) 補助率1/2・上限3千円

※令和6年4月1日現在

